独自のLPWA規格「LP-WAVE」で、携帯圏外でも繋がるIoTインフラ「里山通信」を提供
獣害対策、自然災害対策、遭難対策、一次産業支援に関わるIoT機器の通信インフラとして

携帯圏外エリア
国土の7割を占めると言われる森林・山の多くは携帯圏外ですが、里山通信ならどんな場合でも無線の技術で通信インフラを安定に構築可能です。

無線対応カメラ。
行かないから分からなかった状況を見える化します。

オリワナシステム
の子機の磁石センサーが、簡易的な
地滑り検知に活用可能。

水位検知など各種
センサー機器と連携し、山奥の上流
河川の監視で洪水等を早期警戒。

森林従事者同士でも位置情報共有し、作業効率改善・
安全確保。

携帯圏外でも、子機
間同士での通信が
可能に。

鹿の食害対策とし
ての捕獲用薬の作
動検知、見回りの
負担軽減に有効。

子機

子機

子機

子機

里山通信 実用例
全国40地域で採用

従来の通信方法では、デバイスを設置・使用できる範囲が
携帯圏内に限られる。

抄訳：920MHz/250mWプライベートLoRaを用いた『里山通信インフラ』
実績：鳥獣捕獲騒 遠隔監視装置『オリワナシステム』実用製品として展開中！

増え続ける野生動物の被害。対策となるのは罠による捕獲。現場の困りごと「罠の見回り」負担を、独自無線で省力化！

遠方の罠の作動状況がリアルタイムに分かり、罠の見回りの効率化が可能に。

子機にGPS標準搭載。ユーザー間で罠がどこにあるのかを自動で把握・共有。

子機・親機間の通信料0円。大規模導入してもコストを安価に抑えられます。

採用実績
全国40地域
突破！！！

中継機

中継モード時は
ソーラーパッテリー
で長期運用

通知

捕獲

LTE/Wi-Fi

クラウド

雲

親機

位置情報共有

履歴の記録

捕獲通知

子機

子機設置風景

親機設置風景

copyright © 2018 Foresttoose Co.,Ltd. All rights reserved
最後に：里山通信が目指すこと。

つなぐ・伝える・役に立つ

里山通信

日本の隅々までIoT圏外を“ゼロ”にして、地方創生で、ニッポンを元気に。